

緊急事態宣言の解除に向けて

「今、飲食店を守るのは私たち」丸の内にゆかりのあるメンバーらが立ち上がる

東京丸の内ロータリークラブが、感染拡大防止の啓発動画を制作
3月20日(土)千代田区ワクチン接種会場シミュレーション会場前で作品紹介

今月21日(日)とされている緊急事態宣言の解除を前に、丸の内にゆかりのあるメンバー等で構成される東京丸の内ロータリークラブの皆さんによる、感染拡大防止を呼び掛けるメッセージ動画がこのたび完成しました。

動画は、丸の内でする二人の会社員による料理店でのやりとりを中心に描かれており、「これからは自分たちの注意が、感染拡大の防止や飲食店を守ることにつながる」とのメッセージを伝える、利用者視点での作品となっています。

この動画を制作したのは、東京丸の内ロータリークラブ(丸の内2-3-2郵船ビル1階)の皆さんで、千代田区では昨年の秋に制作にあたっての相談を受け、千代田保健所が感染予防面等でのアドバイスを行ってきました。

原田美江子千代田保健所長は、「店舗の対策とお客様による注意は、感染拡大防止のための両輪です。飲食店の感染防止対策には限界があり、感染の終息に向けて、今重要なのはお客様の協力。こうした利用者側からのメッセージ発信は大変ありがたい。」と話しています。

記

- 1 日時 3月20日(土) 午後1時30分から
- 2 場所 千代田区役所 1階 区民ホール前スペース
(千代田区九段南1-2-1)
- 3 内容 東京丸の内ロータリークラブによる作品の紹介